

科目・コース（ユニット）名：BSL 前漢方実習【医学4】
英語名称：Kampo medicine practice before Bed Side Learning

【担当責任者】 田原英一（漢方医学）

分野担当責任者（漢方医学）

湯液：田原英一 鍼灸：鈴木雅雄 生薬：秋葉秀一郎

【連絡先】 湯液：田原英一 e-tahara@fmu.ac.jp

鍼灸：鈴木雅雄 masuzuki@fmu.ac.jp

【開講年次】 4年, 【学期】 後期【必修／選択】 必修,

【授業形態】 実習

【概要】

我が国の臨床医は80-90%が漢方製剤の処方経験があるとされ、また鍼灸を臨床現場で活用している医師や施設も多い。漢方（湯液と鍼灸）における具体的な診察と治療の方法、湯液で用いられる生薬の基礎、鍼灸治療のメカニズムについて学び、その知識や技量を臨床実習さらに実地臨床で活かせる基盤を作る。

【学習目標】

1. 六病位における主要な方剤について、証に基づいた適応を理解できる。
2. 気血水の病態に対応する主要な方剤について、証に基づいた適応を理解できる。
3. 鍼灸診療において証に基づいた治療とメカニズムについて理解できる。
4. 湯液治療で用いる生薬を中心とした学問である本草学について、具体的な例を挙げて説明できる。
5. 主な生薬の作用と生薬の副作用・使用上特に注意を要する点について理解できる。

【教科書】

1. はじめての漢方診療 ノート（第2版）、三瀦忠道、医学書院
湯液臨床の要点を収載。臨床実習でも使用し、卒前から臨床実地まで活用できる。
2. 基本がわかる漢方医学講義、日本漢方医学教育協議会、羊土社
日本の全医学部の漢方担当教員による標準教科書。湯液と鍼灸の要点を記載。

【参考書】

1. はじめての漢方診療 十五話（第2版）、三瀦忠道、医学書院
「はじめての漢方診療ノート（第2版）」の姉妹版で、丁寧に解説している。
2. 学生のための漢方医学テキスト、日本東洋医学会
3. 症例から学ぶ和漢診療学、寺澤捷年、医学書院
4. 漢方概論、藤平健・小倉重成、創元社
5. 漢方 294 処方 生薬解説、じほう

主要な漢方処方を構成する生薬について、成分や漢方医学的位置づけを解説。

6. 経絡・ツボの教科書、新星出版社

7. 鍼灸臨床最新科学 メカニズムとエビデンス、医歯薬出版株式会社

【成績評価方法】

- ① 規定に基づき、原則として5分の4以上の出席を評価資格条件とする。
- ② レポート：学習目標に掲げた項目について、実習中のレポートを用いてその習得度を確認する。
 - ・ 主要な漢方方剤について、四診所見に基づいて証を判定し、方剤を選択できる。
 - ・ 鍼灸治療に必要な身体診察である舌診について概要を説明できる。
 - ・ 講義内容に沿った証を用いた鍼灸治療の方法について選択できる。
 - ・ 刺鍼の基本的な手技が説明できる。
 - ・ 主な漢方薬・生薬の形態や作用について、漢方と現代薬理学の両面から説明できる。
 - ・ 漢方薬・生薬の副作用や特に注意を要する点を理解し、危険回避の方策を説明できる。

【学習上の注意事項】

漢方医学はその成り立ちが現代医学とは一線を画すため、一般的に流布する先入観を持って学習に臨むことを避けるべきである。

【垂直的統合授業の実施内容】

3班に分かれてそれぞれ、湯液、生薬、鍼灸の実習を1時限ずつ行う。

湯液実習はモデル（腹診シミュレータ）を診察（四診）し、提出用紙に所見と証（適応方剤）を記載する。

生薬は開示されていない未知の処方（複数の生薬から構成）をサンプルとの照合により、生薬を同定し、処方名を解明する。

鍼灸実習では自身にふさわしい経穴の同定や、実際の刺激を体験的に学ぶ。所見をレポートに記載、提出する。

【水平的統合授業の実施内容】

湯液診療では内科学（総合）や、薬理学、臨床薬理学にも関連して説明する。

鍼灸では経穴（けいけつ）部位の解剖と物理刺激に対する神経生理学的働きを理解し、鍼灸刺激が中枢ではどのような反応を起こしているか説明を行う。

また、この刺激の働きが臨床的にどのような意義を持っているか説明をする。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

漢方医学独特の証に基づき薬方を選択する方法としての手技を学び、臨床応用の基礎を作る。

鍼灸診療の理論と実技を取り入れ、臨床に応用できる基礎を身につける。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2026/9/30	水	3	(講) 実習にあたって 湯液、生薬、鍼灸実習のオリエンテーション	田原英一 他	
2	2026/9/30	水	4	(実) 湯液実習 四診の実際と処方検討	田原英一 他	
3	2026/9/30	水	5	(実) 生薬実習 生薬の鑑別と処方検討	秋葉秀一郎 他	
4	2026/9/30	水	6	(実) 鍼灸実習 経穴の鑑別と鍼灸の実技	鈴木雅雄 他	

実際には3班に分かれて各時限ごとにローテーションで実習を行う。

【担当教員】

教員氏名	職	所属	連絡先
田原英一	教授	会津医療センター漢方医学講座	
畠田一司	講師	会津医療センター漢方医学講座	
秋葉秀一郎	助教	会津医療センター漢方医学講座	
鈴木雅雄	教授	会津医療センター漢方医学講座	
加用拓己	助手	会津医療センター漢方医学講座	
三猪忠道	特任教授	会津医療センター漢方医学講座	
二瓶恵子	副部長	会津医療センター附属病院薬剤部	
宮田紫織里	講座等研究員	会津医療センター漢方医学講座	
山田雄介	講座等研究員	会津医療センター漢方医学講座	
佐藤公紀	医専部部长	株式会社栃本天海堂	
西谷真理	医専部	株式会社栃本天海堂	
中沢良平	院長	一寸法師ハリ治療院	
太田友理香	鍼灸師	一寸法師ハリ治療院	

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

湯液実習は医師が担当、生薬実習は漢方薬剤師、鍼灸実習は鍼灸師（実務経験者）が担当する。